

お好み焼きを焼いて食べて

「メンズリブを語ろう！会」



お好み焼きの種類は。

- ①台の上にキャベツ、肉他を置いて焼く。
- ②キャベツ、肉をかき混ぜて焼く。
- ③台の上に、焼きそばを載せて焼く。
(2台のホットプレートを使います)

(呼びかけ)

私がメンズリブ研究会例会に参加したのは、1994年当初です。

* 手作りお菓子を参加者に振舞う男性がいて、男性が男性に提供する姿を見て、「今まで出会った男性との違い」に衝撃を受けました。のちに、この男性のお菓子づくり精神から学び、家族・親戚、職場の人に水無月を振舞い、いいコミュニケーションづくりになりました。

* 「育児を楽しむ男性」には、のちの「男女共同参画法成立」前であり、私も育児を楽しめたことは、すごく感謝しています。

* また、父親・母親の介護を積極的に向き合う男性の参加もありました。これは、1997年に介護保険法が成立し、私の母親の介護の在り方を模索するのに後押ししてくれました。

* 「さよなら暴力を訳して」は、1995年10月「男 悩みのホットライン」が開設され、2001年「DV法」がつけられ、のちに JMCF に吸収されて相談事業が今日に至っています。

* 性の悩みや、さまざまなセクシュアリティを語りあいました。これは、2015年東京都の渋谷区と世田谷区で同性カップルを自治体が証明書を発行することが始まり、2023年1月時点で255(人口65%)の自治体数にまでに至っています。⇒「同性婚の法律樹立」への影響力になっています。

こうしてみると、90年代に例会で語られたことが、法律等に反映するまで現在に至っています。

⇒「その時代の男性像に異議を語り、自ら描く男性像を創造し合い、仕事や暮らしに反映してきた」これが、メンズリブ研究会の超魅力です。

あれから、30年が経過し、インターネットの普及の反面、情報は反乱。コロナ感染症による閉塞感が続いたことなど、男としての生きづらさを感じる方が増えているのではないのでしょうか？

まあ、話がちょっと固くなりましたが、そんなこんなで上記を企画しましたので、お好み焼きを焼いて食べて男性問題のおしゃべりをしませんか？！
(世話役 JMCF 社員森岡 隆男)

記

- * 日 時 令和5年10月14日(土) 13時~16時
- * 対 象 男性
- * 場 所 「e トコ」(大阪市東成区東小橋2丁目5-32)
- * 交 通 JR「鶴橋」駅下車徒歩10分、東小橋公園近く {「e トコ」4階建の看板が目印}
- * 参 加 費 500円(食材費)
- * 申込方法 別紙「申込書」を添付して下記、森岡のメールアドレスへお送りください。
t-mori@jmcf-jp.com
- * 期 限 令和5年10月8日(日)
- * 主 催 「メンズリブを語ろう！会」(一般社団法人日本男性フォーラム「JMCF」内)